



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月6日

上場会社名 株式会社 あみやき亭

上場取引所 東名

コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,978	0.4	1,499	28.2	1,554	27.9	879	34.7
2019年3月期第3四半期	23,871	1.3	2,088	7.2	2,155	6.7	1,347	11.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 879百万円 (34.7%) 2019年3月期第3四半期 1,347百万円 (11.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	128.46	
2019年3月期第3四半期	196.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	25,610	21,450	83.8
2019年3月期	25,969	21,257	81.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 21,450百万円 2019年3月期 21,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		50.00	100.00
2020年3月期		50.00			
2020年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,430	0.9	2,000	27.7	2,080	27.4	1,180	27.9	172.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年1月6日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,848,800 株	2019年3月期	6,848,800 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	324 株	2019年3月期	324 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,848,476 株	2019年3月期3Q	6,848,536 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などが続いているものの、米中貿易摩擦等による世界経済の不安定化など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、食材価格の高騰傾向、人材の確保を目的とした人件費の上昇、さらには依然として強い消費者の節約志向に加え、消費税増税に伴う消費マインドへの影響懸念等厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」の強みであるカット技術を活かして季節メニューの開発をするなど、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供し、他社との差別化を図りました。

また、クリンネス、キッチン・ホールのオペレーション等基本の徹底を図り、接客・サービス力向上を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。

店舗数につきましては、株式会社杉江商事の新規連結による7店舗に新規出店6店舗(焼肉事業3店舗、その他事業3店舗)、退店2店舗の結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は269店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、23,978百万円(前年同期比0.4%増)、損益面につきましては、国産牛肉相場の高止まりに加え、人件費関連コスト等販売費及び一般管理費の増加により営業利益1,499百万円(前年同期比28.2%減)、経常利益1,554百万円(前年同期比27.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益879百万円(前年同期比34.7%減)となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、株式会社杉江商事の新規連結による7店舗に新規出店3店舗出店した結果182店舗であります。内訳は、あみやき亭110店舗、どんどん22店舗、かるび家2店舗、スエヒロ館22店舗、ほろたん屋13店舗、ブラックホール5店舗、島津1店舗、ホルモン青木他7店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」を提供するとともに、接客・サービス力向上に向けたクリンネス、キッチン・ホールのオペレーション等基本の徹底を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「スエヒロ」ブランドの知名度と「食肉の専門集団」である強みを活かした和牛商品を「チェーン店価格」で提供するなどグループシナジーを発揮した展開をしております。

また、株式会社アクトグループが経営する焼肉業態へ当社より焼肉食材を供給し、一層の品質向上に努めてまいりました。

株式会社杉江商事が運営する「ホルモン青木」をはじめとしたホルモン焼店につきましては、社内整備と当社の「食肉の専門集団」の強みを活かしたコスト見直しを実施するとともにブランドの知名度を活かした展開を行っております。

以上の結果、焼肉事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,114百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、55店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、焼きの技術向上に努め、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの提供に努めてまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,760百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、32店舗であります。

内訳は、当社が経営するレストランの「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」2店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営するレストランの「スエヒロ館」17店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」6店舗、ダイニング3店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」は、美味しい国産牛肉のステーキ、ハンバーグをお値打ち価格にてご提供する本格的ディナーレストランとして、引き続き品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、スエヒロブランドを活かしつつ「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産牛ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引き続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

株式会社アクトグループでは、経営する寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指しております。また、寿司業態では各店舗で行っている鮮魚の仕入およびカットをセントラルキッチンに一部移行するなど業務の効率化並びにコストダウンを図るとともに全国各地の産地直送鮮魚をお値打ち価格で提供するなどお客様満足度の極大化に努めております。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,114百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

なお、各事業の売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、25,610百万円となり、前連結会計年度末と比較し、359百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は、4,160百万円となり、前連結会計年度末と比較し、552百万円減少いたしました。主な要因は未払法人税等の減少によるものです。

純資産額は、21,450百万円となり、前連結会計年度末と比較し、193百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年1月6日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,230	9,862
預け金	280	559
売掛金	4	10
商品及び製品	69	90
原材料及び貯蔵品	170	217
その他	809	991
流動資産合計	12,565	11,731
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,538	5,525
構築物(純額)	327	322
機械及び装置(純額)	302	344
車両運搬具(純額)	14	9
工具、器具及び備品(純額)	223	174
土地	2,709	2,709
建設仮勘定	19	28
有形固定資産合計	9,134	9,115
無形固定資産		
ソフトウェア	32	27
のれん	452	896
その他	31	28
無形固定資産合計	517	952
投資その他の資産		
投資有価証券	5	5
長期貸付金	331	344
繰延税金資産	863	858
差入保証金	1,545	1,583
投資不動産	307	305
その他	699	713
投資その他の資産合計	3,752	3,810
固定資産合計	13,404	13,878
資産合計	25,969	25,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,165	1,087
未払金及び未払費用	1,416	1,425
未払法人税等	619	16
賞与引当金	134	108
役員賞与引当金	—	22
株主優待引当金	5	10
ポイント引当金	75	86
その他	563	652
流動負債合計	3,981	3,409
固定負債		
リース債務	284	256
退職給付に係る負債	—	5
資産除去債務	415	444
その他	30	44
固定負債合計	731	750
負債合計	4,712	4,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	16,357	16,550
自己株式	△1	△1
株主資本合計	21,257	21,450
純資産合計	21,257	21,450
負債純資産合計	25,969	25,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	23,871	23,978
売上原価	8,724	8,940
売上総利益	15,146	15,037
販売費及び一般管理費	13,058	13,538
営業利益	2,088	1,499
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	0	1
受取賃貸料	27	27
協賛金収入	24	8
その他	14	22
営業外収益合計	69	63
営業外費用		
不動産賃貸費用	2	2
支払利息	0	0
匿名組合投資損失	—	6
その他	—	0
営業外費用合計	2	8
経常利益	2,155	1,554
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	5	4
受取補償金	—	3
特別利益合計	5	8
特別損失		
固定資産除却損	31	36
減損損失	50	108
その他	0	—
特別損失合計	82	145
税金等調整前四半期純利益	2,079	1,417
法人税、住民税及び事業税	735	511
法人税等調整額	△3	25
法人税等合計	731	537
四半期純利益	1,347	879
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,347	879

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,347	879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
その他の包括利益合計	△0	—
四半期包括利益	1,347	879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,347	879

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。